

プレッシャーからの解放

サプライチェーンマネジメントの混乱を乗り切る方法

高まるプレッシャー



企業は、高まる複雑性への対応とレジリエンスが必要とされる中、シナリオの進化によって新たなレベルの俊敏性や洞察力が求められています。

>> 課題 <<

顧客

競争が激化し、価格や市場シェアが圧迫されています。企業は、競合他社の急増、従来顧客だけでなくデジタルネイティブの顧客からの期待の高まり、国境を越えた取引の拡大といった市場の課題の荒波を受けており、事業環境は急速に変化しています。



サプライチェーン担当幹部の実に68%が、課題が矢張り早く浮上する大きな混乱のサイクルに陥ったと感じて答えています。¹

サプライヤー

供給側では、新型コロナウイルス感染症関連の影響の揺り戻しが起こっており、一部の業界では市況が軟化し、在庫不足から過剰在庫へと移っています。その一方で、商品原価の上昇や、将来の供給不足や混乱のリスクを想定し、メーカーはサプライヤーベースを拡大して、広大なサプライヤーネットワークに参加することを余儀なくされており、複雑なポートフォリオや在庫の管理がこれまで以上に難しくなっています。メーカーは、利益を守るために可視性、スピード、応答性を高める必要があります。



過剰在庫は、米国だけでも2,500億ドルを上回る問題です。²

製品

企業は、製品ポートフォリオ構成の急速な拡大と複雑化に直面しており、需要と供給の変化の予測がさらに難しくなっています。この課題は、PaaS（製品のサービス化）モデル導入の流れの高まりによって悪化しており、従来の製品戦略に大きな変化をもたらしています。



世界の EaaS（あらゆるもののサービス化）市場は、2022年から2030年にかけて年平均成長率（CAGR）22.3%で成長して、2030年までに1兆2,085億ドルに達する見込みです。³

テクノロジー

コンピュータ計算能力に制約がある従来型のレガシープラットフォームを使用していると、結果として手動のバッチ処理が長引くことになり、チームはベースの速い市場で精度よりもスピードを選ぶことを余儀なくされます。こうした妥協は、俊敏性を妨げ、サプライチェーンの連携を悪化させ、システムのサイロ化がもたらす分断を深めるため成果をあげることができません。しかも、即効性のある解決策がありません。



サプライチェーン計画担当者の66%は過剰な技術的負担に直面しており、システムが多すぎて管理やコラボレーションを効果的に行えていません。⁴

データ

企業には、複数のソースから膨大な量のデータがめまぐるしく押し寄せられており、それを効果的に管理するために多くのインフラを必要としています。その結果、サプライチェーン全体にわたってデータが分散し、対処できない状態になっています。データ量と複雑性が増大するにつれて、その処理コストが増加するとともに効率性が低下し、時代遅れで一貫性を欠いた意思決定につながっています。



データアナリストは40%の時間をデータ品質の問題に費やしています。⁵

サステナビリティ

政府規制、経済変化、世界的な影響を一因として、持続可能なサプライチェーンのパフォーマンスについて予測できない状況が頻繁に生じています。そうした不測の変化は、ただでさえ複雑で進化するビジネス環境の課題を悪化させ、企業に適応と成長を求める圧力が強まる傾向にあります。



ESG 規制は、サステナビリティに基づく政策介入の急増を反映して、この10年間で155%増加しています。⁶

労働力

経営上、労働力の流動化がますます進んでいますが、さまざまな分野間で顕著なスキル格差があります。これは、厳しい労働環境、オンラインチャネルへの継続的な移行、ネットワークの継続的な拡大によって悪化しています。



サプライチェーン計画担当者の60%は、この権限で厳しい環境でストレスと過労にさらされていると答えています。⁷

メーカーの40%は、人材の雇用と維持が自社の成長計画に不可欠であると同意しています。⁷

>> 自動化こそが答えです <<



こうした社内外からのプレッシャーの高まりが原因で、サプライチェーン部門の50%以上が2026年までに機械学習（ML）を利用して意思決定機能を強化すると予測されています。⁸

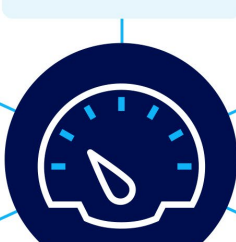
嵐を乗り越える：将来の見通しは？

こうしたプレッシャーの高まりを受ける中、新たな環境を今から構築できるとしたら、どのようなものになるでしょうか？

リアルタイムのデータ同期：イベントに応じて即時に更新されるデータ環境は、すべてのアプリケーションを最新のサプライチェーン活動に確実に同期

統合データベース：すべてのサプライチェーンデータを統合した単一のデータベースにより、従来のアナリティクスを超えて効率を向上

クラウドベースプラットフォームの俊敏性：膨大なコンピューティング能力で高速シミュレーションが可能なクラウドインフラストラクチャにより、計画と実行間の遅延を解消



エンドツーエンドの接続性：計画から物流までのあらゆるアプリケーションを単一のプラットフォームに統合し、サプライチェーン全体にわたるシームレスなオペレーションを実現

パートナーの直接データアクセス：運送業者や取引先がデータに直接アクセスできることで、コラボレーションが簡素化されるとともにデータ転送の複雑さも軽減

AI 主導のインテリジェンス：システム全体への予測 AI や生成 AI の組み込みにより、迅速かつ正確な意思決定と生産性の向上を実現

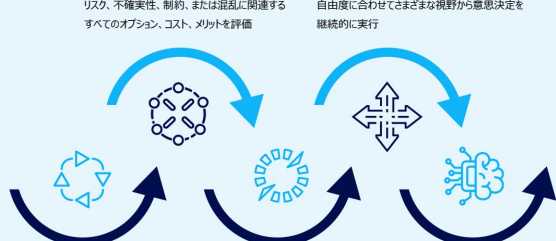
未来を捉える

Blue Yonder は、データ主導で回復力の高い未来のサプライチェーンマネジメントへの道を開きます

現在のデータ、コンピュータ計算能力、最先端のイノベーションをフルに活用している未来を思い描いてみてください。

Blue Yonder の [コグニティブ・プランニング・ソリューション](#) は、インテリジェントな自動化や AI を活用した提案によって意思決定を強化し、サプライチェーンの有効性を高めるとともに予測精度を改善します。その結果、収益、利ざや、顧客満足度の向上に加え、回復力が高く効果的なサプライチェーンの実現につながります。

AI を活用した計画の仕組み



プレッシャーをはねのける準備はできていますか？

Blue Yonder コグニティブ・プランニング・ソリューションの詳細はこちら

1. The Rise of the Ecosystem — and 4 More Supply Chain Predictions, Gartner
 2. The Next Supply-Chain Challenge Isn't a Shortage — It's Inventory Glut, HBR
 3. Everything As A Service Market Size, Share & Trend Analysis Report By Offering, Grand View Research
 4. Interoperability Value untangled, Accenture
 5. Data Performance Management Is Essential To Prove Data's ROI, Forrester
 6. ESG regulations in 2024: Everything you need to know, Sustainable Future News
 7. Supply Chain Planning Leaders Survey, Blue Yonder
 8. The Rise of the Ecosystem — and 4 More Supply Chain Predictions, Gartner